

季美の森リハビリテーション病院

Kiminomori Rehabilitation Hospital



心とからだの回復を目指して。

理念

あす

「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」

私たちは、回復期リハビリ病院として、退院後も患者さん及びご家族が笑顔で過ごせる様、一人ひとりが心の温まる医療と知識、技術を提供いたします。

基本方針

- 1) 一人ひとりの患者さんの意思を尊重し、多職種がチームを組み、最善の回復期リハビリテーション医療を実践します。
- 2) 安全で根拠のある、質の高い医療サービスを提供する為に、自らの人間性と専門性の向上を常に研鑽いたします。
- 3) 退院後も健やかで活動的に過ごせるように、病院から在宅への切れ目のないサポート、安心な地域生活サポートに努めます。

ごあいさつ

健やかな暮らしを実現するために

当院は2014年4月に開院した、山武・長生・夷隅でも数少ない回復期リハビリテーション病院です。「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」という理念のもと、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、介護福祉士等が連携し『運動機能の向上』『日常生活動作の向上』『社会復帰』を目指したチーム医療に取り組んでおります。

また、当院では退院後も在宅生活をサポートし、安心して地域生活を送っていただけるよう、隣接する季美の森整形外科診療所をはじめ、グループ内4診療所においてリハビリを継続でき、介護を必要とする患者さんにはグループ内介護事業所にてご支援をいたします。今後も地域に根ざしたリハビリテーション医療を提供し、地域医療に貢献していく次第です。



理事長 李 笑求
山武郡市医師会理事

【経歴】

1975年 千葉大学医学部卒業
1975年 千葉大学医学部 脳神経外科入局
1980年 千葉大学医学部 脳神経外科 (文部教官助手)
1983年 労働福祉事業団鹿島労災病院 副部長 (脳神経外科)
1986年 千葉大学医学部 脳神経外科 (文部教官助手)
1988年 千葉県こども病院 医長 (脳神経外科)
1999年 同 診療部長
2004年 同 病院長
2017年～季美の森リハビリテーション病院 病院長

【所属学会・認定等】

日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経外科学会指導医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
難病指定医
医学博士
千葉県医師会保険診療委員会委員

回復期リハ病院は近隣の急性期病院とのスムーズな連携が必要で、リハビリテーションのためのスタッフ・設備の充実も求められます。当院では医師6名、リハビリテーション専門職が約100名、看護師介護福祉士など約90名、そのほか薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士など総勢240名を超える医療職員が患者さんの一日も早い在宅復帰を目標にご家族の方とも協力しながらリハビリテーションを進めています。病院開設から10年を迎えた現在、全国平均を超える在宅復帰率を維持し、多くの患者さんに在宅へ戻っていただいています。「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」の理念の基にこれからも職員一同、地域の皆様の期待にお応えできるよう努力していきたくと考えております。

病院概要

名称：医療法人社団 鎮誠会
 季美の森リハビリテーション病院
 住所：千葉県大網白里市季美の森南1丁目30-1
 理事長：李 笑求
 病院長：伊達 裕昭
 副院長：石毛 尚起

敷地面積：11,694.61㎡
 延床面積：5,998.54㎡
 病床数：回復期リハビリテーション病床 120床
 2階60床 3階60床の2病棟
 開院日：2014年（平成26年）4月2日
 TEL：0475-71-3366（代表）
 FAX：0475-71-3367（代表FAX）
 診療科目：リハビリテーション科 神経内科

日本医療機能評価機構
 病院機能評価認定病院



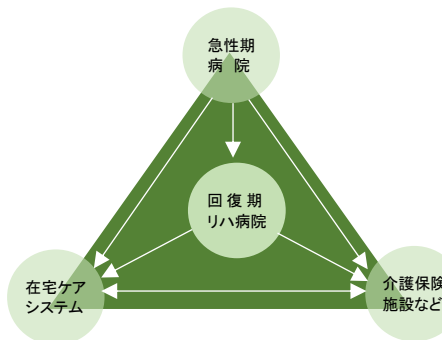
施設基準

令和6年6月1日 現在

- 基本診療料
 - 回復期リハビリテーション病棟入院料1
 - データ提出加算1
 - 医療安全対策加算2
 - 入退院支援加算1
 - 医療安全対策地域連携加算2
 - 認知症ケア加算2
 - 二次性骨折予防継続管理料2
- 特掲診療料
 - 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
 - 廃用症候群リハビリテーション料（I）
 - 運動器リハビリテーション料（I）
 - CT撮影（16列以上64列未満のマルチスライス型）及びMRI撮影（1.5テスラ以上3テスラ未満）
 - 外来リハビリテーション診療料
 - 歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）
 - 薬剤管理指導料
- 入院時食事療養費／生活療養（I）
 - 入院時食事療養（I）
 - 入院時生活療養（I）
 - 特別食加算
 - 食堂加算

回復期リハビリテーション病院とは

脳血管障害や骨折の手術などのため急性期病院で治療を受け、病状が安定し始めた発症から1～2か月後の状態を回復期といいます。
 この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行うことで低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟といいます。
 当院では回復期の患者さんに対して、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的とした、患者さんごとのリハビリテーションプログラムに基づき、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、介護福祉士、薬剤師、管理栄養士等が協働で集中的なリハビリテーションを提供いたします。



《回復期リハビリテーション病棟 対象疾患》

対象疾患	入院限度期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の状態	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
外科手術後又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
股関節又は膝関節の置換手術後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日
上記の状態に該当しない場合	リハビリテーション6単位以内 療養病棟入院料1の算定

※対象外の方もまずはお問い合わせください

主な設備・医療機器等

創造の丘（リハビリ庭園）ーお出かけ体験広場ー

創造の丘は、患者さんが在宅復帰した際の様々な環境を体験出来る広場です。在宅復帰した際に、家に閉じこもることなく、皆さんのお出かけに少しでも自信を持ってもらうために、病院にいる間もそんな様々な場面をシミュレーションし、経験してもらうことで、充実した在宅復帰を体験できる場所です。

創造の丘は、4つのエリアに分かれています。

1. 自宅・庭エリア
2. 公共施設エリア
3. 電車・駅エリア



自宅・庭エリア



公共施設エリア



電車・駅エリア



自然散策エリア

主な医療機器

MR I (1.5テスラ)

造影剤を使わずに大血管から末梢血管まで、血管の異常を見分けることも可能です。

CT (16列マルチスライス)

広範囲を高速・高画質で撮影し、正確な病状把握を支えます。

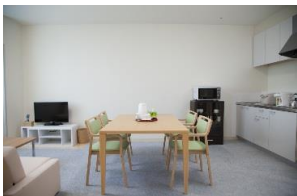
一般X線撮影装置

広い可動範囲によるスムーズな撮影で患者さんの負担を抑えます。

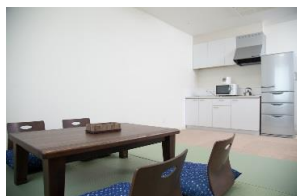
デジタルX線TVシステム

口から食べる機能に異常がないかを検査する嚥下造影に対応しています。

主な設備 在宅復帰調整室



2F 洋室タイプ



3F 和室タイプ

家の環境は通路は狭く、トイレや浴槽にも車椅子を一旦降りて歩かなければならないなど入院生活とは異なることも想定されます。入院中でも家の環境に近い状態で生活に密着したリハビリを行います。

主なトレーニング機器



上肢エルゴ・下肢エルゴ

ウォーミングアップやクールダウン持久力の向上など、上肢・下肢バイクの用途は、多岐にわたります。



キネシス

全身の筋力・柔軟性・持久力をバランス良くトレーニングすることができます。



レッグプレス

下肢全体の筋力トレーニングを行うことができます。

また、上半身を完全に倒したトレーニングも可能です。



ARKE

体幹やウェイトトレーニングを一カ所で行うことができ、いろいろなバリエーションを展開できます。

主な評価機器



GRAIL system

10台のカメラで歩行時の3次元動作解析を行い、客観的に歩行能力の評価を行います。



イージーテック

膝の筋力を測り、歩行能力や自立度の設定の評価を行います。



アイトラッキングシステム

課題遂行中の視線を客観的に評価します。



SRソフトビジョン

座っている状態や寝ている状態に偏りがないか評価を行います。



Inbody

身体の栄養状態を定期的に評価し、筋力や歩行能力などとの関係を見ています。



ドライブシミュレーター

脳損傷後の方を対象に、運転評価・訓練をします。また、運転補助装置を使用し、左上下肢での運転評価が可能です。

主な物理療法機器

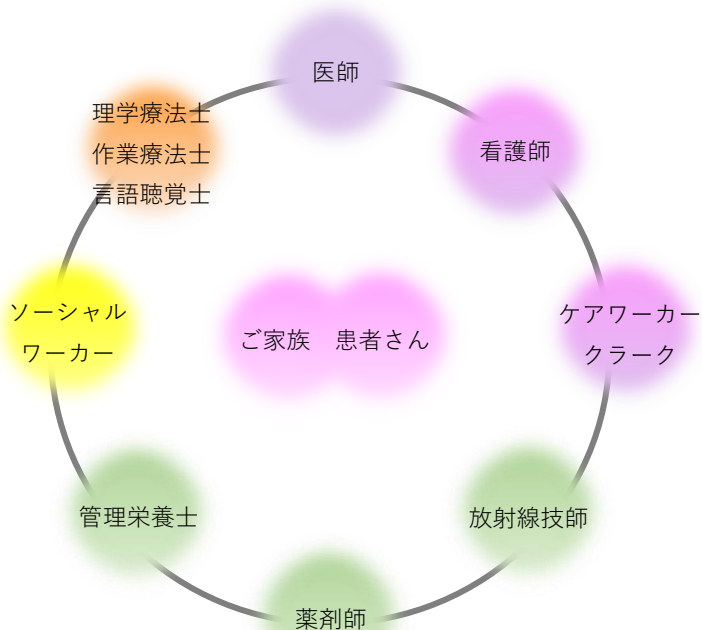


インテレクト

干渉電流、電気治療、高電圧パルスなど25種類以上の電気治療法と超音波療法の両方の治療が可能です。

当院の取り組み チーム医療

情報・目標を共有



理学療法士 理学療法は運動療法や徒手の療法、物理的療法を用いて、失われた身体の機能を回復させる治療方法です。当院が担う回復期は、病気やケガの状態が安定し、機能回復や能力改善が最も望める時期といえます。退院後の生活をしっかりと見据え、それに向けたきちんとした評価、治療、検証を徹底して行います。患者さん一人ひとりが安心して退院し、その後の生活を過ごせるよう、お手伝い致します。

作業療法士 作業療法部門では、「患者さんとの協業にて治療を成り立たせ、質の高い結果を残す」事をそれぞれが心掛け、日々のリハビリに取り組んでいます。また、雰囲気作りも大事にしており、明るい環境で笑顔あふれる場の提供も行っています。チーム一丸となり患者さん一人ひとりの未来と一緒に創造し、ソーシャルワーカー 地域医療連携室では、ソーシャルワーカーが入院新たな状況や環境での生活に向けてサポートを行います。

言語聴覚士 病気をきっかけに、コミュニケーションを楽しむこと、食事を楽しむことが難しくなった患者さんの支えになりたい。季美の森リハビリテーション病院での生活はもちろん、ご自宅での生活に、新しい環境での生活に再び楽しみを。私たち言語聴覚士は患者さんと共に、ご家族と共に考え、その支えになりたいと願っています。

医師 入院中、集中してリハビリテーションに取り組むことができるように、前医および院内の多職種と連携しながら、患者さんの体調の維持管理に努めます。主治医制を取りつつも、毎日の回診、カンファレンスを通して患者さんの医学的な問題点を共有し、それぞれの専門的立場から適切に対応していきます。

看護師 患者さん・ご家族の皆さんのもっとも身近な職員として、看護師・ケアワーカー・クラークが所属しているのが看護部です。看護師は、入院から退院まで受けもち制をとり、医師と一緒に病気の治療や病状に合わせた入院生活を調整してケアにあたっています。

ケアワーカー ケアワーカーは、看護師と協働し入院生活がスムーズに楽しく過ごせるよう、清潔面のお世話や移動・移乗の介助などを担っています。また季節感をとり入れた四季折々の飾りなどを工夫しています。

クラーク クラークは、主に病棟の事務全般を担っていて、医師の回診と一緒につき診療の事務的業務をしています。

放射線技師 リハビリテーションを担う医療機関として、放射線技師はプロフェッショナルな支援をしてチーム医療に貢献しています。画像診断の重要性が問われる昨今、高いニーズに応えるように最新機器を用いて良質な画像の提供を行っています。業務内容は、MRI撮影・CT撮影・X線一般撮影・X線透視撮影・病棟でのX線ポータブル撮影です。

薬剤師 患者さんに医薬品を安全に服用していただくため、医薬品に関する情報を収集し、医師、看護師等に対して適宜的確な情報を提供しています。また、入院時に持参薬の鑑別を実施し、残薬管理も行っています。退院後の服薬管理をスムーズに行えるよう、一包化、錠剤の粉砕、カプセルを外す等の調剤を行っています。

管理栄養士 リハビリテーションにおいて、管理栄養はとても重要です。栄養とリハビリの相乗効果によるADL（日常生活動作）の向上を目指し、管理栄養士の立場から栄養管理に携わって行きます。安心・安全はもちろん、美味しく、楽しみとなる食事の提供を心がけています。

ソーシャルワーカー 地域医療連携室では、ソーシャルワーカーが入院相談を受け、入院前の案内や面談を行い、なるべく早い時期に入院できるように対応しています。全患者担当制とし、信頼関係を築く事から始め、毎日の病棟申し送りに参加し日々の患者さんの状態を把握、定例カンファレンスでは多職種と目標共有を行い、退院に向けての調整を行なっています。退院した患者さんの経過を紹介元病院へ書面で報告をしています。地域の関係機関との連携も重要ですので、特にケアマネージャーさんには来院して頂き、引継ぎを行なっています。患者さんご家族には退院後も安心して過ごせるよう、入院中から課題を解決できることを心がけています。

入院から退院までの流れ

病院からのご紹介

ご家族から

診療所からのご紹介

お問い合わせ窓口

[代表]

■TEL 0475-71-3366

■FAX 0475-71-3367

[地域医療連携室直通]

■TEL 0475-71-2254

■FAX 0475-72-2377

[受付]

■月~金 9:00~17:00

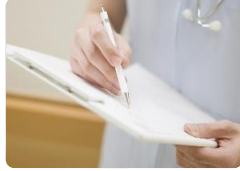
祝日も対応いたします



☎ 電話相談



病院からの紹介



入院決定



家族面談

(必要に応じて)

入院に関する説明や病棟をご案内します。



必要時、医師の面談を行う場合もあります。

入院



患者さんのお体の状態を確認しながら、リハビリを行います。

リハビリテーション



定例カンファレンス

主治医を始め、担当チームで毎月会議を行い患者さんの状態確認や目標設定をします。



退院準備

退院先は患者さんやご家族の意向を確認し、退院後の生活に合わせたリハビリを行います。



退院

自宅での外泊を試したり、介護サービスや福祉用具の選定をお手伝いします。



入院生活の1日

【起床】

6:00

歯磨き・洗面・更衣を済ませます



【夕食】

18:00

季節ごとの行事に合わせた

イベント食も楽しみのひとつです♪



【就寝】

21:00

今日も1日お疲れ様でした

入院から 1ヶ月 が経過した方

	7:30	9:00	10:00	11:00	12:
月曜日	朝食				
火曜日	朝食	理学療法	入浴		
水曜日	朝食	理学療法	言語療法		
木曜日	朝食				理学療法
金曜日	朝食		入浴	言語療法	理学療法
土曜日	朝食			言語療法	
日曜日	朝食	理学療法			

入院から 4ヶ月 が経過した方

	7:30	9:00	10:00	11:00	12:
月曜日	朝食	理学療法			
火曜日	朝食	言語療法			理学療法
水曜日	朝食	自主トレ			理学療法
木曜日	朝食	自主トレ			言語
金曜日	朝食		理学療法		
土曜日	朝食	理学療法		言語療法	
日曜日	朝食		自主トレ		

【リハビリテーション】

9:00

午前のリハビリテーションの開始

【朝食】

7:30



【入浴】

目安として入浴は週2回を
予定しています



【リハビリテーション】

13:00

午後のリハビリテーションの開始



【昼食】

12:00

畑で収穫した
野菜は調理訓練に
も使用します♪



の1日のスケジュール (例)

1日平均7~8単位実施

(1単位20分)

00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
昼食	作業療法			理学療法		夕食
昼食	理学療法		言語療法			夕食
昼食				理学療法		夕食
昼食	言語療法	理学療法				夕食
昼食	理学療法		作業療法			夕食
昼食		理学療法				夕食
昼食		作業療法				夕食

入院から1ヶ月経過した頃
には、リハビリにも慣れて自身で
ペースがつかめてくる時期になり
ますので、リハビリも積極的に介
入を行っていく時期になります。

の1日のスケジュール (例)

00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
昼食		理学療法	理学療法			夕食
昼食		入浴	理学療法			夕食
昼食			理学療法		作業療法	夕食
療法	昼食		理学療法		作業療法	夕食
昼食	入浴	理学療法		言語療法	作業療法	夕食
昼食					言語療法	夕食
昼食	理学療法		自主トレ	作業療法		夕食

入院から4ヶ月経過した頃
には、体力の向上や自身で行う
リハビリも増え、退院後の生活を
想定し、自立して行えることを
増やしていく時期になります。

施設案内



特別個室付属室



特別個室



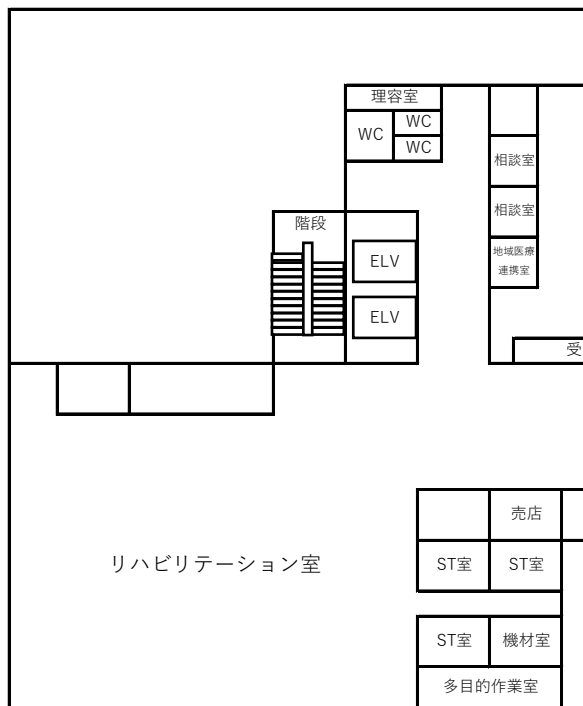
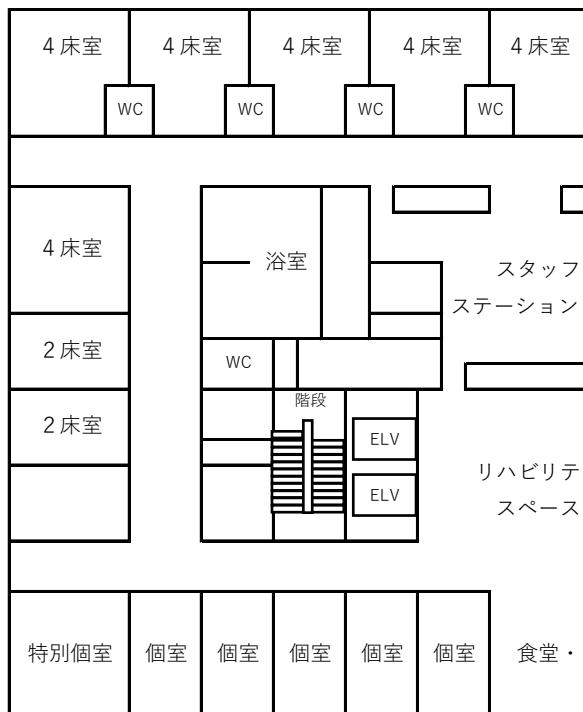
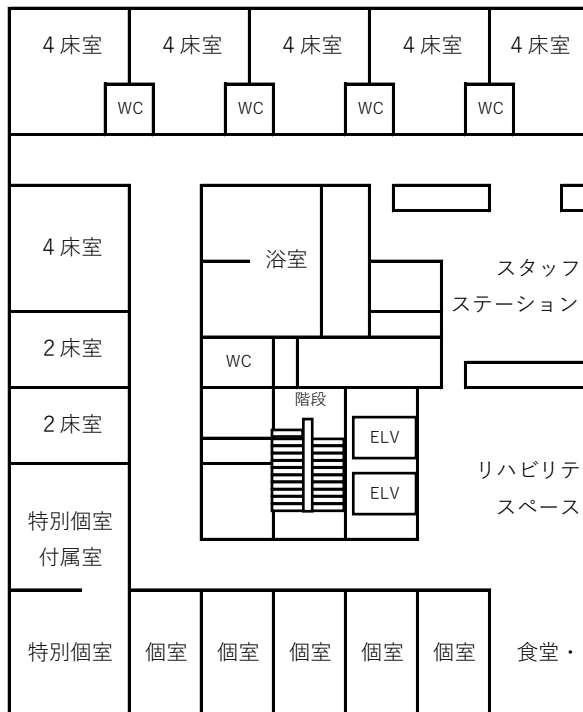
特別個室内浴室



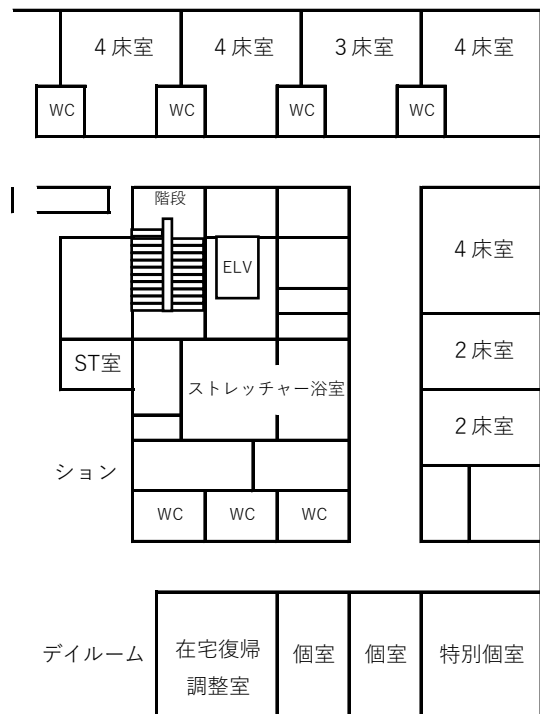
2F・3Fダイニング



創造の丘（リハビリ庭園）では四季折々の様子が楽しめます



創造の丘
（リハビリ庭園）



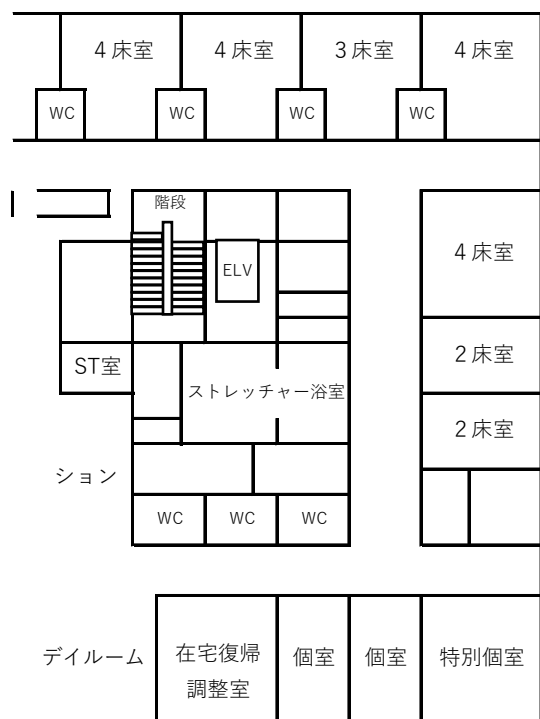
3 F



インターネット (wi-fi) がご利用いただけます。



4 床室



2 F



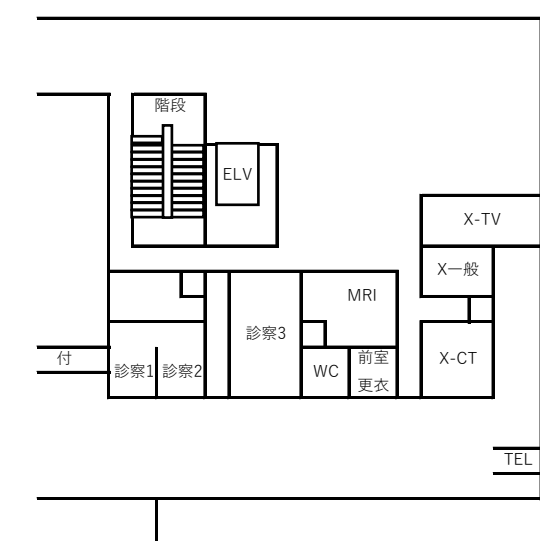
インターネット (wi-fi) がご利用いただけます。



2 床室



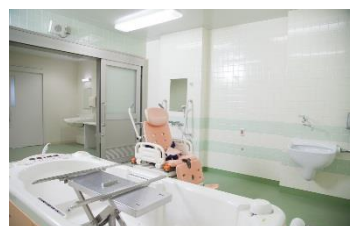
個室



1 F



個別浴室



ストレッチャー浴室



外来ロビー

敷地内禁煙のお願い

当院は健康増進法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、敷地内での喫煙を禁止しております。ご来院、ご入院中の皆さまには、禁煙（非燃焼・加熱式たばこ含む）の厳守をお願いいたします。また、病院周辺においてもマナーをお守りいただき、病院敷地内全面禁煙にご理解とご協力をお願いいたします。

季美の森リハビリテーション病院は

日本医療機能評価機構の認定病院です



当院は第三者評価として公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価 リハビリテーション病院 <3rdG: Ver.3.0>の審査を令和6年6月に受審し、令和6年10月4日付で認定されました。

この病院機能評価は、医療機関の機能を中立・公平な立場で評価を行う第三者機関である公益財団法人 日本医療機能評価機構が審査を行い、一定の水準を満たした病院に対して認定証が発行されるものです。認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院と言えます。

大事なものは継続することであり、今後次世代に継ぎ続けることで初めて病院として成長できると考えています。

日本医療機能評価機構の評価認定を受けて

病院機能評価初受審を終えて

病院長

伊達 裕昭

Hiroaki Date



看護部長

尾出 真理子

Mariko Ode



当院は2014年に開院し、「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」という病院理念のもと、回復期のリハビリテーション機能を備える医療施設として、地域への医療サービスを提供して参りました。

急性期の治療後の回復期医療を担うにあたり、これまでも専門的リハビリテーション医療の内容充実にも努めてきましたが、今回、第三者の目で当院の病院機能について審査いただき、備えるべき水準を満たしているとの評価認定を頂きました。日頃の病院管理の状況はもとより、最近の病院機能で最も重要視される院内多職種連携について、院内の各部門スタッフが理解し、実践できていることが高く評価された結果と思います。

今回の評価に甘んずることなく、今後も継続して地域に密着したサービスと医療体制の充実を図り、リハビリテーション病院としてさらに成長できるよう努めます。

回復期リハビリテーション病院は、リハビリ実績、入院患者の重症度割合、在宅復帰率をはじめとする様々な実績を一定数維持することが求められておりますが、今回の受審は、患者の視点に立った良質な医療を実践する上で求められる、データでは表せない病院理念に基づいた組織運営や質改善活動、医療安全・感染対策等の日々の診療のプロセスの質を問われるものでした。

1年以上の準備期間をかけ、それぞれの部門での自己点検、改善、多職種間の協働、共有などを行いながら、開院10年間の実践を振り返る良い機会となりました。

地域の皆さんに「季美の森リハビリテーション病院で良かった」と言ってもらえるよう、この活動を継続して参りたいと思います。

「病院機能評価」は日本医療機能評価機構による評価です



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする公益財団法人として1995年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

約90項目の病院機能を専門調査者が審査し評価しています

審査を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、実際に医療を提供するプロセス、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。

信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。



公財 日本医療機能評価機構とは
日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。
質の高い医療を実現するために、病院機能評価をはじめ、医療安全に関する教育研修、医療事故情報のデータベース、診療ガイドライン等の提供など、幅広い事業を実施しています。

入院相談：地域医療連携室

【代表】 電話 0475-71-3366
FAX 0475-71-3367
【直通】 電話 0475-71-2254
FAX 0475-72-2377

<相談窓口>

月～金 9:00～17:00
祝日も

対応いたします



相談室

無料で当院までの転院お迎えを行います。



車いすやストレッチャーなどの転院でも、当院専用車両にて無料で行います。ご家族の同乗も可能です。お気軽にお申し付けください。

医療法人社団 鎮誠会グループ

●医療部門



東金整形外科

〒283-0068
千葉県東金市東岩崎2-26-14
TEL：0475-55-8002
FAX：0475-55-8003
休診日／日曜日、年末年始
診療科目／整形外科・内科・
リウマチ科・リハビリテーション科
放射線科



姫島クリニック

〒289-1327
千葉県山武市姫島268-1
TEL：0475-80-1726
FAX：0475-80-1736
休診日／年末年始
診療科目／整形外科・内科・
リウマチ科・リハビリテーション科



季美の森整形外科

〒299-3241
千葉県大網白里市季美の森南1-30-5
TEL：0475-70-8951
FAX：0475-70-8952
休診日／年末年始
診療科目／整形外科・内科
リウマチ科・リハビリテーション科
放射線科



千葉きぼるクリニック

〒260-0013
千葉県千葉市中央区中央4-5-1 Qlball2F
TEL：043-201-6600
FAX：043-201-6601
休診日／年末年始
診療科目／整形外科・形成外科
美容診療科・リウマチ科・
リハビリテーション科・婦人科



季美の森リハビリテーション病院

〒299-3241
千葉県大網白里市季美の森南1-30-1
TEL：0475-71-3366（代） FAX：0475-71-3367
診療科目／リハビリテーション科・神経内科



医療法人社団
鎮誠会



令和リハビリテーション病院

〒260-0026
千葉県千葉市中央区千葉港4-4
TEL：043-242-0180 FAX：043-242-0170
診療科目／リハビリテーション科・内科

●介護部門



姫島介護センター

●姫島デイサービスセンター
TEL：0475-80-2100 FAX：0475-82-1550
定休日／年末年始
●とうがねヘルパーステーション
TEL：0475-80-2102 FAX：0475-82-1550
定休日／年末年始
●東金居宅介護支援事業所
TEL：0475-80-2103 FAX：0475-80-2107
定休日／日曜日、年末年始



九十九里介護センター

●九十九里デイサービスセンター
●ショートステイ九十九里
TEL：0475-70-7799 FAX：0475-70-7700
定休日／デイサービスのみ元旦のみ定休

この森には、人生の春が訪れる。



アクセス



交通アクセス

電車	東京駅	外房線特急 49分	外房線快速 約60分	大網駅	バス・タクシー 約6分	★	
	千葉駅	外房線各駅 約25分		大網駅	バス・タクシー 約6分	★	
自動車	船橋IC	京葉道路 約21分	千葉東IC	千葉東金道路 約11分	山田IC	一般道 約2分	★
	海岸千葉IC	東関東・京葉道路 約11分	宮野木JCT	千葉東金道路 約11分	山田IC	一般道 約2分	★
						約27.4km	
	木更津金田IC	アクアライン連絡道 約7分	木更津JCT	圏央道 約43分	東金IC	一般道 約5分	★
					約58.6km		



季美の森リハビリテーション病院
Kiminomori Rehabilitation Hospital

当院ホームページ
QRコード
<http://www.krh.jp>



〒299-3241 千葉県大網白里市季美の森南1丁目30-1

TEL 0475-71-3366 FAX 0475-71-3367

2024.12